様式第1号(第10条関係)

番号

年　月　日

国頭村長　　　様

事業者名　　　　　　　印

住所

年度生活バス路線確保対策補助金交付申請書

年度生活バス路線確保対策補助金の交付を関係書類を添えて、下記のとおり申請します。

記

1　交付を受けようとする補助金の額

|  |  |
| --- | --- |
| 運行系統数 | 補助金の額 |
|  | 千円 |

2　補助金の交付を受けようとする理由

3　申請事業者の概要

|  |  |
| --- | --- |
| 補助対象期間の損益状況 | 路線バス事業 |
| 営業収益 | 千円 | 営業外収益 | 千円 | 経常収益 | 千円 |
| 営業費用 | 千円 | 営業外費用 | 千円 | 経常費用a | 千円 |
| 営業損益 | 千円 | 営業外損益 | 千円 | 経常損益 | 千円 |
| 路線バス事業の補助対象期間の実車走行キロb | km |  | 経常収支率 | ％ |
|  |

(注)　バス事業の収益、費用及び実車走行キロについては、高速バス及び定期観光バス等を除くこと。

4　キロ当たり補助対象経常費用

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 地区名 | バス事業者キロ当たり経常費用(実績)a÷b＝c | 昨年のバス事業者キロ当たり経常費用 | 関係市町村 |
|  | 円　　　　銭 | 円　　　銭 |  |

5　生活バス路線確保対策補助金交付申請に係る運行系統の概要及び補助申請額

|  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 申請番号 | 系統番号 | 運行系統名 | 運行系統 | 系統キロ程d | 離島過疎地乗入部分のキロ程e | 他路線との競合部分に係るキロ程f | 他路線との競合部分以外のキロ程の比率f÷d＝g |
| 起点 | 主な経由地 | 終点 |
| 第1号 |  |  |  |  |  | 往復 | ：　km | (平均)km | 往復 | ：　km | (平均).　km | 往復 | ：　km | (平均).　km | ％ |
| 第2号 |  |  |  |  |  | 往復 | ：　km | km | 往復 | ：　km | .　km | 往復 | ：　km | .　km | ％ |
| 第3号 |  |  |  |  |  | 往復 | ：　km | km | 往復 | ：　km | .　km | 往復 | ：　km | .　km | ％ |
| 第4号 |  |  |  |  |  | 往復 | ：　km | km | 往復 | ：　km | .　km | 往復 | ：　km | .　km | ％ |
| 第5号 |  |  |  |  |  | 往復 | ：　km | km | 往復 | ：　km | .　km | 往復 | ：　km | .　km | ％ |
| 第6号 |  |  |  |  |  | 往復 | ：　km | km | 往復 | ：　km | .　km | 往復 | ：　km | .　km | ％ |
| 合計 | 系統 |  |  |  | 往復 | ：　km | km | 往復 | ：　km | .　km | 往復 | ：　km | .　km |  |
| 申請番号 | 系統番号 | 実車走行キロh | 補助対象経常費用c×h＝i | 経常収益j | 補助対象経常費用から経常収益を控除した額i－j＝k | gのうち他路線との競合部分以外に係るものk×g＝l | ｉのうち当該市町村の負担率(小数点1位)m | 当該市町村の負担額m×i＝n | 補助申請額(nの額を百円未満切り捨て) |
| 第1号 |  | .　km | 円 | 円 | 円 | 円 | ％ | 円 | 千円 |
| 第2号 |  | .　km | 円 | 円 | 円 | 円 | ％ | 円 | 千円 |
| 第3号 |  | .　km | 円 | 円 | 円 | 円 | ％ | 円 | 千円 |
| 第4号 |  | .　km | 円 | 円 | 円 | 円 | ％ | 円 | 千円 |
| 第5号 |  | .　km | 円 | 円 | 円 | 円 | ％ | 円 | 千円 |
| 第6号 |  | .　km | 円 | 円 | 円 | 円 | ％ | 円 | 千円 |
| 合計 | .　km | 円 | 円 | 円 | 円 |  | 円 | 千円 |

記載要領

1　補助対象事業者の決算期間が補助対象期間(補助金交付要綱第2条(4)で定める期間)と相違している事業者にあっては、補助対象期間の仮決算を行い、その損益状況を補助対象期間の損益状況欄に記載すること。

2　補助対象期間(補助金交付要綱第2条(4)で定める期間)の損益状況の欄中乗合バス事業と他の事業を兼業している場合の関連収益及び費用の配分は、昭和52年5月17日付け自総第338号、自旅第151号、自貨第55号によること。なお、これより会計を整理することができない特別の理由があるときは、知事に報告し、その承認を求めること。

3　補助申請に係る運行系統の概要及び補助申請額は、系統ごとに申請番号をかえて記載すること。

4　計算上生じた単位未満の端数は切り捨てること。

5　「系統キロ程」及び「他路線との競合部分に係るキロ程」は、小数点第1位(第2位以下切り捨て)まで算出し、往・復のキロ程が異なる系統については、平均値も記載すること。また、平均値の合計の欄については、往・復の合計の平均値ではなく、各申請系統の往・復の平均値の合計を記載すること。

6　「他路線との競合部分に係るキロ程」とは、他の運行系統との競合区間の合計が50％以上の生活交通路線であって、当該競合区間の輸送量が1日当たり150人を超える部分のキロ程のことをいう。

7　「他路線との競合部分以外、のキロ程の比率g」については、％以下第3位(小数点第4位切り捨て)まで算出して記載すること。

8　「実車走行キロ」は、小数点第1位(第2位以下切り捨て)まで算出して記載すること。

(2)添付書類

1　補助対象期間(補助金交付要綱第2条(4)で定める期間)に係る旅客自動車運送事業等報告規則第2条第3項の「営業報告書」

2　第4号の2様式の運行系統別輸送実績、平均乗車密度算定表(補助対象路線に係るものに限る)

3　路線補助金の市町村別分担表